

て、何時でも使える方法ではない。産卵期ですね。しかし昔は魚も多かったのか、実に愉快になるほどとれました。鮒、鯉、サイなどは、一晩でバケツに何ばいもとつたことがあります。

桜川が汚れたのは、私らの目からは、昭和40年頃からです。鰍が居なくなりしましたよ。この頃からバタッと取れなくなりしましたね。農薬をどこでも使い始めたことが一番大きな原因じゃないでしょうか。もつともその前から除々に汚なくはなっていましたね。なにしろ私の子供の頃は、桜川の底は砂とか石でしたが、底までもぐつてゆくと、底に居る鰍が見えましたからね。その頃の川は、それほど深くなくて、子供の背の立つ所がずいぶんあつたんですが、十三年の大水で底がえぐれたように深くなつたんです。それはともかくとして、底にもぐつてゆくと、鰍があるのが見える。そして指をのばして捕えようとすると、ピンとはねて見えなくなつてしまふんです。ともかく水はきれいでした。まあこれは

三十年以上も前の話ですが、それでも終戦後だつて、川

は深くなりましたが、鰍でもサイでも、尺鮒でも居りましたからね。水はきれいだったですよ。まあ、見た目にも汚なくなつてきたのは、十三年位前からですね。年がら年中濁つてきたんです。始めに鰍がいなくなつたのは、し尿処理場が出来てからです。あれが出来てから処理場の下はビタリと鰍がいなくなつて、その上流にはいたんです。私は投網もやっていたんですが、十年前に粕毛で投げたところ網が寄らないんです。どうしたんだらうと思つて引き上げたところが、便所に使つた新聞紙とか脱脂綿がかたまつていましたね、びっくりしました。人間の排泄したものは流れてしまつたんでしょうが、沈殿するものもありますからね。話には、あの処理場では、夜のうちに、全く処理をしないし尿を生のまま、川に流したりするそうです。それから私は投網をやめました。魚も食べる気がなくなりましたね。

魚は居ましたけど、三十八、九年頃までは、尺以上のヘラ鮒はざらにりましたからね。臭みもなくて、実に見事なものでした。

サイが終わると、出水網ですね、サイは四月いつばい